

◆教員研修会

1. 開催概要

テーマ	今、大学に求められる成績評価とは	
開催日時	2016年9月15日(木) 16:30~18:00	
発表者	伊藤 真宏 先生	仏教学部 仏教学科 准教授
	平田 豊誠 先生	教育学部 教育学科 准教授
	作田 誠一郎 先生	社会学部 現代社会学科 准教授
	松岡 千代 先生	保健医療技術学部 看護学科 教授
コメンテーター	原 清治 先生	教育学部 教育学科 教授
コーディネーター	岡崎 祐司 先生	社会福祉学部 社会福祉学科 教授

2. 開催趣旨

学士課程教育の充実、教育の「質保証」が大学につよく求められている。一方で、入学者の学力格差が小さくないことや全体として学力が低下している傾向、入学してからの学生の力の伸長が十分ではないことも、基礎学力調査から明らかになっている。

こうした現実をふまえて、シラバスの整備、授業方法の工夫などに各教員は取り組んできたと思うが、もうひとつ、授業で重要なのは「成績評価」のありかたである。

「成績評価の厳格化」やGPAなどが検討されていますが、学生の実態からいって、シラバスにある到達目標を示したものの、実際に成績(点数)をつけるときに、大いに迷う教員は少なくないと思っている。

今回の教員研修会では、本学の教員がどのような「ねらい」や工夫をもって成績評価をしているか、またどんなことに悩み、それにどのような対処をしているか、それらを率直に出し合い、課題を共有し、今後の本学の成績評価のありかたを検討するスタートラインにたつことをねらいとする。

また、4名の事例発表をふまえながら、大学教育における成績評価をどのような視点から考えたらよいのか、大学教育がこのことをめぐってどのような動向にあるのかを検討したい。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・ 正確な評価には労力がかかる。そのバランスと効率化をどのように図っていくかの方法を学んでいきたい。その意味で、今日の研修は参考になりました。
- ・ クラス(所属学部)によって理解力や論理性に差があるので、同じ科目数名の場合、評価基準をどうするか(クラスごとに基準を変えるかどうか)で迷います。そもそも授業の水準をどこに設定するかという問題でもあるのですが。
- ・ 途中で学生に評価を報告して現状を自覚させ、その後に活かす。大人数クラスの採点のプレ(初日と翌日でプレ)参考になりました。

◆FD研究会

1. 開催概要

テーマ	TA活用事例報告会	
開催日時	2016年12月21日(水) 16:30~17:40	
発表者	村瀬 敬子 先生	佛教大学 社会学部 准教授
	山本 奈生 先生	佛教大学 社会学部 講師
コーディネーター	岡崎 祐司 先生	佛教大学 社会福祉学部 教授

2. 開催趣旨

今年度のTA研修では、TA任用科目の担当教員に加え、実際にTAとして授業補助を行なっている学生にも参加いただき、教育効果の向上、研究者・教育者としての資質の向上といった成果について確認する。また、本学のTA制度のあり方、社会学部の支援上回生の取り組み等についても議論したい。

3. 当日の様子

